

トリトンアーツ共催公演

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第240回定期演奏会

The 240th Regular Concert



長澤勝俊生誕100年

～長澤勝俊の軌跡～



語り：朴璐美(客演)

演出：原郷 隆 構成：元永 拓 舞台監督：中島 隆

2023年9月16日(土) ◆14:00開演(13:30開場) 第一生命ホール (晴海トリトンスクエア内)

主催：特定非営利活動法人日本音楽集団

共催：認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)


文部科学省 独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：公益財団法人日本伝統文化振興財団

JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

■日本音楽集団：<http://www.promusica.or.jp/>  Facebookファンページ：promusicanipponia

■トリトン・アーツ・ネットワーク：<https://www.triton-arts.net>

 Facebookページ：tritonartsnetwork



今年作曲家・長澤勝俊の生誕100年です。
「現代邦楽」と呼ばれる多くの作品が生まれた1960年代以降、
長澤節は独特の光を放ちながらいまなお、
多くの愛好家、聴衆に愛され続けています。

今回は珠玉の作品のなかから、
日本音楽集団定期演奏会で初演された4曲を演奏いたします。
終曲の「竹取物語」には、声優、女優の朴璐美さんをお迎えし花を添えていただきます。
「人」を愛し、「自然」を愛し、「生」へ憧れる作曲家・長澤勝俊の音楽。
長澤作品が永遠に多くの皆様に愛され続けることを願いつつ、また長澤先生が生前、
日本音楽集団に注いでくださった情熱と愛情に感謝を込めて。

日本音楽集団

プログラム

◆全曲 作曲 長澤勝俊

一、組曲「人形風土記」1966年

NINGYO FUDOKI Doll Topography Suite

[笛] 新保有生 [尺八] I 阪口夕山・川俣夜山 II 田野村聡・饗庭凱山

[太棹三味線] 杵家七三 [琵琶] 久保田晶子

[箏] I 熊沢栄利子・喜羽美帆 II 桜井智永・佐藤里美 [十七絃] 久本桂子・石井香奈

[打楽器] 尾崎太一・富田慎平

[指揮] 稲田 康

1966年に作曲され、同年の日本音楽集団第4回定期演奏会で初演されました。
六つの郷土人形をモデルに作曲された組曲で、すがすがしく美しい郷愁の世界に私たちを引き込んでくれます。

曲毎に楽器の組み合わせが変わり、背景となったそれぞれの人形のイメージがほうふつとしています。

1. 〈ニポポ〉は木の小さな子と言う意味のアイヌの木彫りの信仰人形。 2. 〈こけし〉は言うまでもなく東北産。
3. 〈のろま人形〉は佐渡の首人形でおどけた顔つき。 4. 〈流しびな〉はさらに西へ、鳥取の民俗行事でなんとなく物悲しい。 5. 〈きじうま〉は九州大分で作られる、なた仕上げの白木の車。 6. 〈木うそ〉はウソと言う鳥になぞらえられた木彫りで、嘘を帳消しにしようという福岡太宰府天満宮の行事用です。

(第228回定期演奏会プログラム)

二、大津絵幻想 1981年

Otsu-E Fantasy

[笛] あかる潤

[尺八] I 元永 拓・饗庭凱山 II 阪口夕山・田野村聡 III 原郷 隆・川俣夜山

[胡弓] 木場大輔(助演)

[細棹三味線] 簗田司郎 [太棹三味線] 山崎千鶴子

[琵琶] 藤高りえ子

[箏] 桜井智永・石井香奈 [二十絃] 久東寿子・丸岡映美

[十七絃] 城ヶ崎美保・森 真理子 [打楽器] 多田恵子・山内利一

[指揮] 苦米地英一

大津絵幻想は1981年に作曲され、同年の日本音楽集団第67回定期演奏会で初演されました。

作曲者本人の解説によると「大津絵とは、近江の国(現在の滋賀県)大津辺りで売られていたお土産用の民衆絵画で…元禄年間頃には当時の民衆の哀歓や世相風刺がユーモラスなタッチで大らかに画かれており…その奥深くひそんでいる民衆の誇らない自然の姿と智慧と余裕を日本楽器の音に託して表現しようと試みた」(抜粋)ということです。

名曲の「子どものための組曲」や「人形風土記」と比べても「大津絵幻想」は、邦楽器及びアンサンブルの書法が明らかに習熟度を増し、楽器の持ち味を活かしきっている印象があります。また長澤作品の多くがそうであるように「A-B-A」と、曲の初めの主題やモチーフが最後に戻って来る構成が多く、そこをどのように表現するか、も演奏する面白さ、また聴き処でもあると思います。

(第195回定期演奏会プログラム 川崎絵都夫)



長澤作品の収録レコードとCD



三、颯踏 1975年

"SATTO" FOR FU-E AND PERCUSSIONS

[笛] 新保有生

[打楽器] 多田恵子・富田慎平

1975年の初演の際には「笛と打楽器のための音楽」という抽象的なタイトルで発表されたが、後に雅楽に由来する「颯踏」という名が付けられた。作曲者によれば、作品の主眼は篠笛と能管という2種類の横笛の性格を打楽器との合奏の中で際立たせることにあるという。全体は2章に分かれており、第1章では能管が冒頭で幽玄な世界を存分に繰り広げたのちに、即興的に導入される鼓や鑿の余韻と絡み合っゆく。第2章では締太鼓のリズムに乗って篠笛が祭囃子を思わせる軽妙な旋律を奏でる。後半に現れるシンコペーションも作曲者ならではの持ち味である。

(第211回定期演奏会プログラム)

四、竹取物語～竜女の玉～ 1976年 海津勝一郎作

The Tale of the Bamboo-Cutter : Ryujo no Tama (Treasure of a legendary princess), words by Kaizu Katsuichirou

語り：朴璐美(客演)

[二十絃箏 solo] 山田明美

[笛] 芝有維 [笙] 東田はる奈

[尺八] I 元永拓・阪口夕山 II 田野村聡・川俣夜山 III 原郷隆・饗庭凱山

[細棹三味線] 杵家七三 [太棹三味線] 山崎千鶴子 [琵琶] 久保田晶子・藤高りえ子

[箏] 熊沢栄利子・久東寿子 [二十絃] 佐藤里美

[十七絃] 丸岡映美・久本桂子

[打楽器] 多田恵子・富田慎平・山内利一

[指揮] 苦米地英一

1976年7月の第35回定期演奏会にて初演されました。わが国最古の古典と言われている物語を、国文学に造詣の深い海津勝一郎氏が大胆に脚色した、悲しくも美しい物語です。各楽器にそれぞれの人物を当てはめ(かぐや姫は二十絃箏、少将の君は篠笛、竜女は琵琶など)楽器と語りの掛け合いの中で両者の有機的な結びつきを目指したものです。特に二十絃箏はかぐや姫の分身として、語りとともに主役をつとめることになります。

<ぼーっと明るく光る竹の中より生まれたかぐや姫…、竹取の翁に見いだされたかぐや姫は、やがてみまごうばかりに美しく成長します。そこには姫欲しさや、婿になりたやと多くの男たちが押し寄せ、中でも五人の熱烈な求婚者、倉持の御子、髭黒の右大臣、石づくりの皇子、石上の中納言、蔵人の少将には、とうとう難題が与えられることとなります。求婚者たちがつぎつぎに失敗していく中、竜神の玉を持ち帰ることを命ぜられた蔵人の少将だけが帰ってきません…。>

(第189回定期演奏会プログラム)

今回、語りは声優、女優として多方面でご活躍の朴璐美さんをお願いいたしました。

語りと演奏で物語の世界をお楽しみください。



長澤 勝俊

(1923年8月2日～2008年1月10日)

1923年東京に生まれる。日本大学芸術学部修了。

清瀬保二に作曲を師事。1964年の日本音楽集団創立に参加。1949年以来「人形劇団ブーク」の音楽を監修。1986年歌舞伎・市川猿之助「ヤマトタケル」などの音楽を作曲。1990年紫綬褒章を受賞。6回の日本音楽集団の海外公演に参加。「子供のための組曲」「組曲・人形風土記」「大津絵幻想」「萌春」「錦木によせて」他邦楽器のための作品多数。日本音楽集団の名誉代表を務める。2008年1月没。享年84歳。

の音楽を作曲。1990年紫綬褒章を受賞。6回の日本音楽集団の海外公演に参加。「子供のための組曲」「組曲・人形風土記」「大津絵幻想」「萌春」「錦木によせて」他邦楽器のための作品多数。日本音楽集団の名誉代表を務める。2008年1月没。享年84歳。



語り(客演)

朴璐美(ばくろみ)

東京都出身。桐朋学園演劇科卒業後、演劇集団円に所属。古典劇から現代劇、鄭義信、東憲司らの描き下ろし作品まで、幅広く出演。声優としてもアニメから吹き替え・ナレーションまで活躍は多岐に渡る。2017年に独立しLAL設立。その後、「レ・ミゼラブル」(マダム・テナルディ工役)、「千と千尋の神隠し」(湯婆婆・銭婆役)、「キングダム」(紫夏役)に出演。また藤沢文翁作・演出「VOICARION」などの朗読劇にも多数出演。自身のプロデュース、怪奇譚シリーズなどにも注力する。アニメの代表作は「鋼の錬金術師」エドワード・エルリック役、「NANA」大崎ナナ役、「進撃の巨人」ハンジ・ゾエ工役。吹き替えではノオミ・ラバス、ヘレナ・ボナムカーターなど。金曜ロードショーのナビゲーターを10年務める。



笛
あか 潤
遠藤 悠紀 ※
芝保 有維
新瀨 夢生
孫瀨 夢
竹井 誠

笙
東田はる奈
三浦はな

箏
西原 祐二
三浦 元則

尺八
響庭 凱山
大川 悠司 ※
阪賀 夜山
田口 夕山
野村 聡
原郷 隆
測上ラファエル 広志
元永 拓
米澤 浩
渡辺 淳

三味線
杵家七三
長井麻江
穂積大志
兼田弘大
兼田司郎
二代目三山貢正
守啓伊子
山崎千鶴子

琵琶
久保田晶子
田原順子
藤高りえ子

箏
石井 香奈
伊藤 麻衣子 ※
岡山 亮子 ※
久東 寿子 ※
熊沢 栄利子
桜井 智永美 ※
佐藤 里美美 ※
島崎 春美保子
城ヶ崎 美保子
久本 桂子

丸岡 映美
三宅 礼子
森真 真理子
山田 明美
喜羽 美帆子
渡辺 正子

打楽器
白杵美智代
尾崎太一 香 ※
島村 聖恵子
多富田 慎利一
富山 慶順
盧 慶順

指揮
稲田 康
菅米地 英一

作曲
相澤 洋正
秋岸 寛久
川崎 絵都夫
篠田 大介 ※
高橋 久美子
福嶋 頼秀

アートマネージメント
大西 愛子 ※

楽器・舞台
中島 隆

代表
尾崎 太一

副代表
米澤 浩

事務局
中山美穂子

永久名誉団員
長澤 勝俊
田村 拓男

(☆印は新入団員
※印は休団中)
2023年7月現在

●紫色は
本日の出演者

賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。
多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 ◆個人会員10,000円(一口以上)
◆法人会員30,000円(一口以上)



ホームページにおいても、お申し込み方法など詳しくご案内しております。

【賛助会員】(口数・五十音順)

[法人会員]
日凸運送株式会社

[個人会員]
天野 麻奈実
伊藤 哲彌
伊藤 美好
伊藤 憲夫

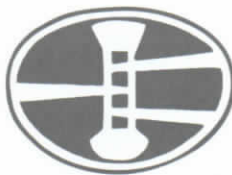
池内 伸子
内山 小次郎
織田澤 康寿
柿崎 やよい
佐藤 玲子
高倉 尚子
友杉 毅
奈良 英子

西川 浩平
堀 保之
三宅 一徳
元永 明希
元永 美代子
森 繁美
山本 福八
他3名
個人会員計22名
(2023年7月現在)



日本音楽集団 1964年創立。伝統的な日本の楽器である、箏・尺八・三味線・琵琶・胡弓・笛、小鼓・太鼓などの打楽器、笙・箏などの雅楽器による和楽器オーケストラです。和楽器数十名と指揮者による大合奏は迫力満点です。
現在では、定期演奏会を中心に、全国各地での公演、教育機関での音楽鑑賞会、録音・放送・映画・演劇などさまざまな分野で演奏活動を行っています。
海外では、ヨーロッパ、アメリカ、ロシア、中国、東南アジア、オーストラリア等、31カ国151都市で公演を実施。アイザック・スターン、ヨー・ヨー・マヤ、ゲヴァントハウス・オーケストラ、ニューヨークフィルとの共演を実現、海外でも高い評価を得ています。
文化庁芸術祭大賞、第2回音楽之友社賞、レミー・マタン音楽賞、モービル音楽賞など、受賞履歴多数。

TOKYO KINKODO



株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 2-19-15

TEL (03) 3792-8481 URL: <http://kinko-do.com>

FAX (03) 3792-8437 E-mail: tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033

ホームページ <http://www.promusica.or.jp>